

みやざき木育マイスター業務報告

氏 名	家村 祐香 (有限会社 イエムラ)
実 施 場 所	社会福祉法人 つくしんぼ福祉会 つくしんぼ保育園
実 施 年 月 日	④ 令和 7年 2月 28日
参 加 人 数	④年少児14名、保育者2名、地域サポーター5名
活動の内容	<p>宮崎県木育プログラム「森のしずく」の実施した。 当保育園では、 ①9月/保育者と地域サポーター向けに「木育マイスター講座」を実施 ②11月/年少～年長児を対象に「木のおもちゃであそぶ週間」 ③11月/年中・年長児を対象に「森のしずく」づくりを実施 ④2月/年少児を対象に「森のしずく」づくりを実施 サポーター講座から実践までを数回に分けて、紙芝居や、工場に出る端材を使った手作り木製おもちゃに触れてもらう機会を設定し、園とマイスター・地域サポーターとの交流を図りながら木育活動をおこなった。</p>

①木育サポーター講座 (9/28・つくしんぼ保育園と同時開催)

参加:保育者 7名、地域サポーター 7名、 森のしずく実践の木育サポーター講座



②木のおもちゃであそぶ週間 (10/30~11/7)

工場が出る端材を使った手作りおもちゃを20体以上持ち込み、木のおもちゃづくりの話、紙芝居「もりのしずく」、おもちゃ遊びで交流。その後約2週間、園で自由に遊んでもらった。



③年中・年長児対象「森のしずく」づくり(11/7)

参加:年中児 17名、年長児 18名、地域サポーター5名、他見学者



④年少児・保護者対象「森のしずく」づくり (2/28)

参加:年少児14名、保育者2名、地域サポーター5名、他見学者



【 木育実施の感想・意見などまとめ 】

①木育サポーター講座(9/28実施)

◎地域サポーターを招いての開催。高齢の方がほとんどで、特に男性は木工に対しての知識もあったので、実践しながら子供たちへ見守り・声かけのポイント(正しい姿勢)(やすりがけの方向)を伝えるよう心掛けた。

(参加者感想)

- ・子どもたちと触れ合いながらものづくりをできる機会はとてもありがたい、木工の経験はあるが、子どもたちにどのように教えれば良いのかポイントなどを学んだので、実践で活かしていきたい。(地域サポーター男性)
- ・木を使ってものづくりをする機会がほとんど無く、新鮮な体験でやすりがけに没頭した、子どもたちには、山と身近にある木とのつながりを感じながら森のしずく作りを体験してほしい。できれば職員みんなで参加したい。(保育者)

②木のおもちゃであそぶ週間(10/30～11/7実施)

◎(有)イェムラで家具製造の過程で出る端材を使い、おもちゃを製作していただいている久保田氏のおもちゃを、20体ほど園に貸出しした。おもちゃができる経緯や、遊び方、紙芝居をとおして、仕事の紹介・山とくらしの循環について話したり、サポーターも一緒に遊んだり、園との交流をしたことで、次の「森のしずく」実践へつながる有意義な時間となった。

(参加者感想)

- ・木の手作りおもちゃ、歯車をつかったおもちゃはとても懐かしみがあり面白い。子どもたちにとっても新鮮な機会になったと思う。一緒に遊んだりおしゃべりをしたり、自然と距離が縮まり、楽しい時間だった。また来年も開催してほしい。(地域サポーター)
- ・工場のハザイで作られた手作りの玩具であそぶ期間中、子どもたちが喜んで遊ぶ姿が多く見られた。未就学児だけでなく児童クラブの小学生たちにも好評だった。(保育者)
- ・木の温かみを感じ、木の存在が身近になったのではないかと感じる(保育者)

④年少児・保護者対象「森のしずく」づくり(2/28実施)

◎開始前の15分、地域サポーターへ「見守りのポイント」を説明。姿勢・ヤスリの使い方を中心に声掛けをするよう伝えた。子ども3名のテーブルに1人ずつサポーターを配置。自作の森のしずくを見本に声掛けをする姿も見られ、終始スムーズに、予定時間どおりのプログラム実施ができた。

(参加者感想)

- ・子どもたちと触れ合う良い機会になった。元気になる。同じ地域にすんでいるのでまたお手伝いできることがあれば参加したい。(地域サポーター)
- ・子どもが遊ぶう会の時のことをよく覚えており、楽しそうに話す姿が見られた。(保育者)
- ・ヤスリを直接机の上に貼っておくことができ、削りやすそうであった。(保育者)
- ・今後は保護者が多く体験(参加)できるように案内を積極的におこなっていききたい。(保育者)
- ・年間をとおして地域の方と交流ができてとても良かった。(保育者)